

東京可愛山同窓会 会報

題字 菊池史憲

発行
東京可愛山同窓会
編集責任：吉留和男
Vol. 12
平成 25 年 4 月 1 日

「心に刻」

東京可愛山同窓会

会長 愛 甲 彰 人

(川高十六期)



皆様、ご健勝のこととお祝い申し上げます。平成 25 年度可愛山同窓会活動が始まります。

この冬は厳しい冷え込みと暴風暴雪で悲しい出来事もあり、急激な気温の上昇により、春の温暖な気候を感じる間もなく花満開となり、若葉の季節を迎えます。

東日本の震災、北国の暴風雪と自然の猛威を感じる昨今で、豪雪の事故を通して親子の愛情や近隣の人々の思いやりの報道に接させて頂きました。天候が不順で自然の力の驚異を味わい、地震も頻発し、毎日緊張感を持ち、いろいろ考えさせられることが多くありました。

東日本震災復興の明るい報道の一方、除染が進まぬ帰宅困難地域・移転地域もあり、景気の変化の兆しも伝えられております。根気強い復興の取り組みと地道な活動力の大切さを教えられた気がします。

本会の代表として数回県人会の会合に参

加する機会を持たして頂きました。いろんな団体で異なった取り組みを実施されている事にふれさせていだきました。参加して与えていただいた機会を大切に、多くの活動に参加されていらつしやる方々の心意

気を感じ、活動の心意気を大切にしたいものだと思えます。東日本の震災復興支援に引き続き取り組まれる姿勢を家族・集まり・職場等で流布してゆくことが思いやり・絆を思う意識の高揚に繋がるものと思えます。

同じく社会的出来事を振り返ると尊属を傷つける内容を多く目にし、社会の助け合う姿勢と異なる動きを感じます。身近な存在に示す心配り・心配りと存在が近すぎて我が儘と感情を抑えられない、堪え性の無さと感情的に行動してしまう日本人の行動に心寂しさを感じます。

近年上京する卒業生の数が減少し、高齢化により参加を見合わせる方々も増加しているようにも感じられ、幹事会としても同窓会誌の紙面の内容・会次第の内容の変化と工夫を凝らし、実行致しております。東京可愛山同窓会に参加いただき、楽しみ、旧交を温め、新しい触れ合いをつくり、ご感想を兼ねてご意見を頂き参考としてまいります。大勢の参加を頂き、ご協力、宜しくお願い申し上げます。



第48回 東京可愛山(総会)同窓会のご案内

会長 愛甲 彰人

日時：平成 25 年 6 月 1 日 (土)
12 時～15 時
受付開始 11 時 30 分

場所：東海大学校友会館「阿蘇の間」
〒100-6033 千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビル 35 階
TEL 03-3581-0121

会費：一人 7,000 円 ご夫婦 13,000 円
80 歳以上 4,000 円
卒業後 5～10 年 4,000 円
卒業後 4 年間無料
※上記会費にプラス年間維持費 1,000 円

連絡先：川高 20 期 尾曲 博司
TEL 090-4676-3674

川高 24 期 皆元 正幸
TEL 03-3265-5890 (昼間)
TEL 045-903-8486 (夜間・休日)

ご出席の場合、5 月 20 日 (月) までに、所定の方法 (左記：同窓会事務局掲示板参照) でお手続きして頂きますようお願いいたします。

東京可愛山同窓会事務局掲示板

*** 今年からの大きな変更点 ***

今年から同窓会参加方法等について、大きな改善を行いましたのでお知らせします。

- 1 会費の値下げ
 - ① 参加会費一人 7,000 円 (夫婦 13,000 円)
 - ② 高校卒業後 4 年間は無料とする。(学生、社会人とも同じ) 今年では平成 22 年 3 月～25 年 3 月卒業生が対象になります。
 - ③ 80 才以上は参加会費 4,000 円 (卒業年度で対応) 今年では 3 期昭和 26 年卒業以前の方が対象になります。
 - ④ 高校卒業後 5～10 年目も参加費 4,000 円 今年では平成 21 年卒 (61 期)～16 年卒 (56 期) の人が対象になります。

維持会費 (年間) は、一律 1,000 円とする。
- 2 参加会費の徴収方法の変更
従来は総会当日、会場にて受け付けていましたが、今回より、事前に同封の振込用紙での振込をお願いいたします。
- 3 振込用紙で出欠の確認を行いますので、振込用紙には卒業年度、氏名、住所、電話番号を必ず記入してください。
- 4 その他、より細かい注意事項も併せ、「48 回定時総会開催にあたっての特別なお願い文」を同封してありますので、ご一読ください。

凜とした卒業式

可愛山同窓会会長 山田島 稔



東京可愛山同窓会会員の皆様にはますますご清栄にてご活躍のことと拝察致します。さて、去る三月一日川内高校の卒業式が行なわれ小生も同窓会長として出席、二八六名の卒業生が母校を元氣よく巣立って行く場に立ち会いました。

これまでに、公立・私立の高校の卒業式に何回も出席したことがありますが、一糸乱れず整然として引き締まった卒業式や、趣向を凝らし恩師や保護者への感謝を強調した卒業式等、それぞれの学校で校風ともいべき独特の雰囲気がありその学校の特徴をよく表わしていると感じます。

それでは、我が母校の卒業式とはといえば、一言で表現するならば「凜とした卒業式」と言っているかと思えます。しわぶきひとつ聞かえない厳肅な雰囲気の中、肅々と行なわれる卒業式はまさに感動であります。

ご存じのように川内高校では卒業五十周年の節目を迎えた同窓生を卒業式に招待して一緒に卒業式に参加してもらっています。本年も八十数名が出席されました。ほとんどの方が五十年ぶりの母校訪問で感激し、更に卒業式の素晴らしさに、さすが我が母校・我が先輩達との思いに感動したと言われます。五月発行の「可愛山同窓会報」に五十年ぶりに母校を訪れニコニコ顔の「十五期」の皆さんの写真を大きく掲載します。その他の記事や報告事項等情報満載ですので「可愛山同窓会報」をぜひ一読下さい。

四月九日には三百二十名の新入生を迎えて入学式が行われます。彼らが川内高校で大きく成長して三年後に立派に巣立っていくのがとても楽しみです。

財団法人川内高校奨学会を解散し、川内高校可愛山同窓会に移行いたしました。このことについては十二期の時吉寛さんが寄稿して下さっていますので報告だけしておきます。

最後になりましたが、皆様のご健勝・ご多幸を心よりご祈念申し上げ御挨拶と致します。

東京可愛山同窓会に寄せて

鹿児島県立川内高等学校 第二十五代校長 田島 洋輝



東京可愛山同窓会会員の皆様には、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。昨年四月に赴任して、生徒たちの明るく爽やかな挨拶や礼儀正しい態度に元氣をもらいながら、あつという間に一年が過ぎたように思えます。川内高校は、とりわけ、素直でしっかりしていると感ずます。反応がよくきちんとした受け答えができる生徒が多いのに感心させられます。これも家庭でのしつけや各学行事・部活動等とおして、コミュニケーション能力や挨拶等の「人間力」がついているのだと思います。

去る三月一日、大規模改修工事でリニューアルされた体育館で、卒業後五十年目を迎えられた十五期生の多数の皆様方の御臨席をいただき第六十五回卒業式が挙行されました。その校長式辞の中で、「江戸時代末期、串木野の羽島の港から、欧米の進んだ文明を学ぶためにイギリスを目指して海を渡った薩摩英国留学生に象徴されるようなチャレンジ精神旺盛な『薩摩スピリッツ』で、自ら求めて学ぶ情熱を持ち、既成概念にとらわれない柔軟な発想で、頭を高く上げ人生を歩んでいってほしい」と励ましたところでした。

皆様方の後輩達は、校訓である「自律・敬愛・剛健」の下、「文武両道叡智を磨くが母校」の校是を拠り所として、日常の勉学や部活動、生徒会活動を中心に、かけがえのない青春を充実させるべく研鑽の日々を重ね、昨年は七つもの部が全国大会に出場するなど数々の実績をあげております。

昨年、東京可愛山同窓会を皮切りに、八つの各支部同窓会に出席させていただきましたが、同窓生の皆様方の母校に対する愛情に感激しました。こうした実績をあげられるのも、同窓会の皆様の母校に対する日頃の惜しみない御支援・御協力のおかげだと、感謝しております。今後とも、川内高校のさらなる発展のために教職員一丸となつてがんばっていききたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。終わりに、「東京可愛山同窓会」の益々の発展と会員の皆様方の御多幸を祈念いたしましてごあいさついたします。

薩摩隼人の原風景

五十年を隔てた後輩達の卒業式に想う 松下 陸朗 (第十五期静岡県在住)



川高第六十五回卒業式への招待のご案内をいただき3月1日、五十年ぶりに我が母校の門を入りました。受付を済ませるとそこには見知らぬ初老の紳士、淑女の顔、顔、顔・まるで浦島太郎のような心境でした。そして導かれるままに式場に入ると286名の六十五期卒業生とご父兄たちが整然と待機しておられました。厳かな雰囲気にもまれて肅々と進行していく卒業証書の授与に緊張した面持ちの五十歳若い後輩たちの未来に栄光あれと祈っております。

私の祖父は川中の一期生、父も川中二期生、私が川高十五期生で三代に亘り校訓の自律・敬愛・剛健の気風を高校および郷中教育のなかで血肉として叩き込まれたのだらうと思えます。

五十年前、進学のために上京、卒業して静岡のテレビ局に入社、社会人としてマスコミ人として静岡を拠点に静岡県内や東京で、責任ある立場になつてからは全国を、時には海外を股にかけて我が人生に悔いのない生き方をしてきました。地縁・血縁の全くない静岡でしたが、じつは静岡市の中心を流れる安倍川の中流域に我が故郷の素晴らしい遺跡が大事に残されているのです。家康の時代に江戸幕府に命じられた薩摩藩が氾濫から駿府を守るために「薩摩土手」と呼ばれる立派な堤を築いたので、約500mのよく管理された堤には薩摩人を讃える石碑があり毎年4月には桜が見事に咲き誇っています。

若き六十五期の後輩たちよ「大丈夫！君たちには薩摩隼人の血が脈々と流れているのだから！」川高になつてから16131名、川中、川内高女からの卒業生は3万人を越えたそうです。篠つく島津雨が式場の体育館の屋根を叩き肅然と式は終了しました。今回の企画を昼夜にわたつて運営して下さい同期の方々川内高校の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

IJEC
 カウンセリングカレッジIICC代表
 東京家政大学名誉教授
 医学博士
橋口英俊
 IJEC事務局
 〒170-0013
 東京都豊島区東池袋3-7-11-806
 電話 03-5953-6625
 FAX 03-5953-6635
 (川高7期)

東和電気株式会社
 代表取締役会長CEO
藤峯武一
 本社：〒105-0004
 東京都港区新橋2丁目13番8号
 電話 03-3504-1511
 FAX 03-3580-6162
 事業所：国内10支店・海外10支店
 (川高6期)

田中正治
 国際特許事務所
 弁理士
田中正治
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町2丁目4番7号
 秀和永田町レジデンス502号
 電話 03-5251-7791
 FAX 03-3580-4790
 鹿児島支所電話0996-30-0745
 (川高5期)

菊池史憲法律事務所
 辯護士
菊池史憲
 事務所
 〒107-0052
 東京都港区赤坂9丁目6番28-207号
 アルベルゴ乃木坂ビル2階207号
 電話 03-3403-7031
 FAX 03-3403-0529
 (川中46期)

四枝会計事務所
 税理士
四枝秀雄
 〒203-0054
 東京都東久留米市中央町6-3-6
 電話 0424-71-2051
 FAX 0424-71-3396
 (川中41期)

第 47 回 ～東京可愛山同窓会の様子～



愛甲新会長就任挨拶



井上教授による「大学の今」～これからどう変わる？～情報化の光と影



川内高校第 25 代 田島校長ご列席



可愛山同窓会 山田島会長来賓挨拶 感慨深く！ 東京可愛山同窓会 橋口前会長様

*** 懇親会のスナップ写真 ***



第六十五回川内高校卒業式
ご列席の第十五期の皆様
平成二十五年三月一日

貫 蘭 純 一

(川高17期)

**第一東京国際
特許事務所**

所長・弁理士
小島 高城郎

〒100-0006
東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館9階
電話 03-3284-0301(代)
FAX 03-3284-0305(代)

(川高16期)

千代田区立教育研究所

愛 甲 彰 人

〒101-0048
東京都千代田区神田司町2-16
電話 042-665-3952(自宅)

(川高16期)

日本製粉株式会社

特別顧問
青 崎 濟

本社
〒151-8537
東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番5号
電話 03-3350-2316

(川高14期)

有限会社
エス・イー・エス

代表取締役
柳 田 宏 幸

〒359-0001
埼玉県所沢市下富1043-142
電話・FAX 04-2942-3782

(川高9期)

紹介 ～社会で活躍されている先輩・後輩～

陸上自衛隊空挺教育隊長
1等陸佐 賦勺 義矢
(川高32期)



～プロフィール～

- 1961 川内市天辰町生まれ
- 1977 川内高校入学
- 1980 防衛大学校入学
- 1984 陸上自衛隊幹部候補生
- 1985 秋田駐屯地 (小隊長)
- 1995 大阪信太山駐屯地 (中隊長)
- 2010 函館駐屯地 (連隊長兼駐屯地司令)
- 2012 習志野駐屯地 (現職)

趣味: 散歩、読書

東京可愛山同窓会の皆様、私は、現在、陸上自衛隊空挺教育隊長を拝命しております賦勺と申します。

川内高校OBの方々が東京可愛山同窓会を組織され活動されていることを知り心強く思うと同時に今回初めて参加できることを嬉しく思っております。

同窓会の多くの方に自衛隊や空挺部隊について、あまり知られていないかと思ひ、少しばかり私共の行っている行事をご紹介します。

- ・8月3～4日 習志野駐屯地夏祭り
- ・8月24日 富士総合火力演習
- ・10月27日 自衛隊観閲式
- ・11月中旬 自衛隊音楽祭
- ・1月12日 第1空挺団降下訓練始め

これらは、誰でも見に行くことができます。

自衛隊は、陸海空の3隊がそれぞれ自己完結型の任務を担って全国に駐屯し、様々な職務を隊員が遂行しております。また、国内ばかりでなく海外においてもPKO活動を始め、国連本部や各国大使館で活動を行っております。

私は、国内で部隊長や総務・人事・情報幕僚等を歴任して来ましたが、陸上自衛官の良い所や魅力は、国内外で様々な仕事が出来るところにあります。また、国内においては地域の皆さんと共にあることを痛感し、その充実感が我々にエネルギーを与えてくれます。

久しぶりに関東に帰ってきました。今も、職業がら単身赴任が続いております。しばらくは習志野に居る予定ですので、もし興味がお有でしたら自衛隊を覗いてみて下さい。

奨学会活動が同窓会の事業で継続

今年も卒業五〇年の先輩を招いて卒業式が挙行され、母校の奨学会に対して多額の寄付がなされました。わが母校には先輩方から引き継がれた立派な奨学会制度があります。かつて東京の先輩方を中心になって在校生を支援していた活動が、その後同窓会と学校とで財団法人「川内高校奨学会」を設立してこれまで活動してきました。内容は月額一万円を各学年五人に支給し(二・三年生は十二ヶ月、一年生は七ヶ月)、返済義務の無い制度です。ところが平成十九年にいわゆる小泉改革の一環で公益法人の制度見直しで政府の方針として行われ、法人形態の変更を求められてきました。公益法人に移行するか、一般法人移行かあるいは解散かと、幾度となく会議を重ねた結果、同窓会の新しい事業として活動を引き継ぐことになり、これまでの奨学会は十一月末で解散したのです。

移行にあたっての課題は公益法人であれば監督官庁(県教育委員会)の関与がこれまでより厳しく、また一般法人であれば会員からの温かい寄付や伝統となった卒業五十年記念寄付金までも課税するという貧乏組織には残酷な見返りが予想されました。収益事業の無い財団なので資金運用は常にジリ貧状態であり、また制度を取止めると基本財産は国が没収する制度になっていました。そこで同窓会として活動するならば基本財産を継承して活動が続行可能という方針が示されたので、これまでの財団法人を解散して、保有していた不動産(土地)は県に寄贈し、基本財産の運用益と会員諸氏の篤志を中心に従来と同様の奨学会活動を継続することになりました。

これまで多くの在校生たちの育成支援になってきたし今後も支援してゆくこととなります。新しい体制の発足とともに引き続き資金の確保のために同窓生の一層のあたたかい支援を望みます。また過去の受給者の動静が全く不明なので受給者からの意見・感想などを会報に投稿されることを期待しています。

(平成二十五年三月十日 記 文責・時吉寛)

福山 喜代子
旬肴素処
〒104-0061
東京都中央区銀座2-16-7
電通恒産第3ビル1階
電話・FAX 03-5565-1883
(川高24期)

AJMMC
特定非営利活動法人
日本ミャンマー交流協会
理事 **高柳 健一**
〒101-0047
東京都千代田区内神田3-5-1
大番ビル5B
電話 03-6204-4107
FAX 03-6206-4108
(川高24期)

株式会社キーバインド
代表取締役 **坂元 隆也** (川高23期)
専務取締役 **渡邊 泰久** (川高26期)
〒171-0033
東京都豊島区高田3-18-11
シルヴァー高田馬場ビル4階
電話 03-5928-9021
FAX 03-5928-9022

株式会社 五井キャピタルホテル
シングル¥5,800～
会社役員 **齋藤 信子**
〒290-0081
千葉県市原市五井中央2-3-2
電話 0436-21-1101
FAX 0436-21-1840
(川高20期)

株式会社 南武
代表取締役 **崎山 美親**
事務所
〒179-0073
東京都練馬区田柄3-17-5
電話 03-3926-2466
FAX 03-3926-3466
(川高19期)

ふるさと通信

薩摩川内市企画政策部新エネルギー対策課長 久保信治

薩摩川内市は、現在、「次世代エネルギーを活用したまちづくり」について、「農業の六次産業化」・「観光振の重要施策の3本柱の一つとして強力に取りくんでおります。

ご存じのとおり薩摩川内市は、古くから火力発電所や原子力発電所、ガス供給施設等があり、九州地域の基幹電源の供給地として長きにわたり重要な役割を担って参りました。

他方、快適な街なか生活、ゴールド集落（限界集落）等での生活、エネルギーが豊富なまちでの生活、特徴を活かし経済を高める産業誘致や既存産業の育成・支援、都の基盤整備、及び持続可能な市政運営等、数多く問題点・課題が山積しております。

そのような中、平成 23 年 3 月に発生した、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故を契機に、このままのスピード感では、薩摩川内市の持続的発展が出来ないと判断し、市長が以前から思い描いていた「次世代エネルギーを活用したまちづくり」を新基軸として加速化させることが重要であると同年の 10 月に新しい組織「新エネルギー対策課新設」及び 6 部 1 局からなる庁内プロジェクトチームを立ち上げ、更には経済産業省から部長級を迎えて施策を進めることになりました。

平成 24 年度は 9 回のビジョン策定委員会を開催し、併せて地区コミュニティ協議会・鹿児島純心女子大学・ポリテクカレッジ・川内高校・れいめい高校・各種団体との意見交換会を実施して、今年度 3 月末に「薩摩川内市次世代エネルギービジョン」を策定しました。

このビジョンは一言で申せば「市内に内在する多くの課題を解決できる市民が喜ぶ面での処方箋」を示し、今後 10 年程度かけて市民の方々の暮らし方や働き方の変革を促し、本市の持続的経済発展に繋げていくものであります。

他の自治体が策定しているビジョンとの相違点は、単に「再生可能エネルギー関連（太陽光・風力・バイオマス）を普及拡大する目標を定めた」ものではなく、どちらかと言えば「エネルギーまちづくり総合計画」になっているのが特徴であります。

平成 25 年度は、このビジョン・行動計画の理念の下、平成 26 年度春に川内港から新高速船が就航することに併せた川内駅⇄川内港シャトルバスに電気バスの導入、甌島地区に EV・超小型モビリティの導入、東郷に小水力発電、市街地にスマートハウス、市内全域でスマートグリッド等、多様なエネルギー面での実証事業等の施策で「観光振興」や「市民の安全・安心等」利便性向上に繋げていくこととしております。

以上、次世代エネルギーを活用した取り組みの骨格について、一部ご紹介させて頂きました。

(詳しくは本市 HP をご参照されるか、またはお問い合わせ下さい。)

今後とも市政全般へのご支援をお願いしますとともに、「東京可愛山同窓会」の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたします。

母校だより～高き理想をめざし、常に進化し続ける川高生～トピックス

★日本ハム木佐貫『万全』鶴岡も太鼓判（川高51期）

2009 年 12 月に巨人からオリックスに移籍した木佐貫投手に東京可愛山同窓会第 10 号に「今年に翔る」と題して、抱負を語っていただけてから早 3 年が経ちました。

巨人時代の 7 年とオリックスでの 3 年間の戦績を比べて、素人野球評論家の筆者の見方は、まず三振が取れること投手の生命線である防御率が格段に良くなっていることから判断して、熟練の投球術でかつてのホーム球場を主戦場に新たな 10 年に向けて大いに活躍すると見ています。

★ソニーセミコンダクター社長 久留楽敏郎（川高29期）

2012 年 11 月に代表取締役役に就任、国内の製造業が苦戦する中で、県内の誘致企業が撤退、縮小していることは会員の皆様ご承知のとおりであります。我が母校出身者の彼は、物静かな容姿に似ず頭脳にはソニーが積み重ねてきた確かな技術の集積があり、設計、開発、製造という一貫した製品づくりを九州 4 県で展開しています。

**株式会社
ライトスタッフ**

末永力男

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-60-1
電話 03-3796-0841

(川高27期)

有限会社リア機工

代表取締役
砂田利美

〒179-0074
東京都練馬区春日町1-18-16
電話 03-3825-2328
FAX 03-3825-8211

(川高26期)

株式会社インテック

代表取締役
脇園弘康

〒113-0033
東京都文京区本郷2-10-5
富士ビル別館
電話 03-3830-1911
FAX 03-3830-1912

(川高26期)

**株式会社
トラスト・ファイブ**

代表取締役
南蘭浩一

〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-22-3
渋谷東口ビル3階
電話 03-3409-1351

(川高26期)

鹿児島酒処ふるさと

代表
小山 猛

〒160-0004
東京都新宿区四谷1-8-14
四谷第一ビルB1
電話 03-3352-0031
JR各線四谷駅徒歩3分
東京メトロ南北線四谷駅徒歩1分
(川高26期)

第四十七回総会報告

幹事長 皆元正幸 (川高二十四期)

第四十七回総会は平成二十四年六月二日(土)に東海大学校友会館にてご来賓を含め百五十二名の出席で盛大に開催されました。総会に先立つ講演会は、初めて同窓生の井上順孝・國學院大學教授(川高十八期)に講師をお願いしご講演を賜り、また懇親会では歌手の永山淳(川高五十五期)君に歌をご披露いただき、盛会裏に閉会いたしました。

ただ、出席者の年齢が年々高齢化しており、若い会員の参加が期を追うごとに少なくなっていることが懸念材料となっております。そこで今回より参加費の大幅な引き下げの実施と、若手幹事の発掘により情報交換を計り若い層の出席増を目指すことになりました。

また、会場のテーブルを期ごとに配列し、全員着席で前後の期の方とも広く懇親が出来るようにいたします。ぜひ多くの方にお声をかけていただければ幸いです。

本同窓会は二年後に創立五十周年を迎えます。今後も同窓会活動を通して母校の発展と後輩の健全な成長に少しでも寄与できるように運営して参りますので会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

●活動経過等報告

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日

- 4 月 15 日 会報 11 号 校了
- 4 月 24 日 幹事会事前準備(幹事会配布資料、欠席幹事宛案内発送作業)
- 4 月 25 日 役員・幹事会(第 47 回総会の議題、会報・案内等資料配布)
- 4 月 26 日 会報寄稿及び広告掲載者へのお礼状発送
- 5 月 25 日 中間集計を幹事宛発送
- 5 月 31 日 総会最終準備
- 6 月 2 日 第 47 回総会開催
- 7 月 25 日 役員会(総会反省及び今後の課題)
- 9 月 25 日 役員会(課題への取組み状況報告)
- 10 月 25 日 役員・幹事会(第 48 回総会に向けての課題等の討議)
- 11 月 22 日 若手懇親会(若い層の出席増に向けての意見交換等)
- 平成 25 年 1 月 23 日 役員会(会報 12 号制作・スケジュール確認)
- 2 月 25 日 会報寄稿の依頼状発送
- 3 月 12 日 役員会(進行状況の確認他)
- 3 月 28 日 広告掲載のお願い発送

第 47 回 東京可愛山同窓会 会計報告 平成 24 年 6 月 2 日(土) 東海大学校友会館にて開催

自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	545,034	平成 23 年 6 月第 46 回総会から平成 24 年 3 月 31 日まで	総会経費 1,920,371
会費	1,338,000	出席 152 名 川内中学 6 名 (うち、来賓 3 名) 川内高女 2 名 川内高校 141 名	東海大学校友会館支払 1,214,170 総会飲み物代 7,243 会員みやげ代 153,200 会報印刷代 87,780 出欠ハガキ、封筒等印刷代 115,500 総会通知用・切手代 153,000 料金受取人払後納分(661 通) 43,290 講師謝礼 100,000 さつまあげ 30,000 その他(資料搬送代、写真代) 16,188
広告料	190,000	会報広告料 19 件	幹事会経費 154,631
寄付金収入	39,000	総会当日 4 件	会場使用料 48,730 食事代 51,369 案内状等郵送料 24,532
維持会費収入	584,120	総会当日納入分 140 件 140,000 振込分 444 件 444,120	事務費 191,156
利息収入	85	預金利息	事務局使用料 50,000/ 維持会費振込料金(444 件) 47,880/ 振込手数料 4,330/ 事務用品等 20,368/ 東京薩摩川内会出席 20,000/ 関東鹿児島県人会連合会出席・広告 40,000/ 卒業式・本部同窓会祝電 8,578
雑収入	9,000	ちりめんじゃこ販売	若手懇親会 30,000
合計	2,705,239 ①		合計 2,266,158 ②

左記の通り報告します。
 東京可愛山同窓会 会 計 高城尚子
 東京可愛山同窓会 会 計 植村健二
 監査の結果、左記の通り相違ないことを認めます。
 東京可愛山同窓会 会計監事 木下公明
 会計監事 前田成文

差引残高 (①-②) 439,081 (みずほ銀行普通 286,175 ゆうちょ銀行普通 152,906) 差引残高 439,081 円は第 48 回総会へ繰越

卒業年	卒業期	幹事氏名	第45回 2010.6.5	第46回 2011.6.4	第47回 2012.6.2	卒業年	卒業期	幹事氏名	第45回 2010.6.5	第46回 2011.6.4	第47回 2012.6.2
41	18	二木幸男	3	4	13	川内中学					
42	19		1	1		昭和 17	41	長谷場琢哉	2	2	2
43	20	尾曲博司	10	12	14	19	43		1		
44	21	徳丸律	1	1	7	20	45	富士代照夫	1	1	1
45	22	山下重孝	1	1	3	22	46	菊池史憲	2	1	3
46	23	坂元隆也	2	2	1	23	47	(山口秋知)			
47	24	皆元正幸	3	4	8	24	48	(上野学)			
48	25	桑原能章	1		2	川内高女					
49	26	渡邊泰久	5	2	5	21	28	皆吉典子	1		1
50	27	渡末永力		2	3	23	30	瀬戸口ミサカ		2	
51	28	植村健二	1	1	1	24	31	中間芳子	5	3	1
52	29			2		川内高校					
54	31	石上聡子	1			24	1	山口秋知	7	7	1
55	32	永田昭一			1	25	2	上野学	2	2	2
56	33	久木野誠				26	3	細山田充利	2	1	1
57	34	流合正明				27	4	大六野喜弘	9	9	6
62	39					28	5	田中正治	1	2	1
63	40					29	6	木下公明	2	3	1
平成元	41	三本深志	1			30	7	岡野孝司	10	11	4
2	42	春田英樹				31	8	山口章	4	4	4
3	43	田端善弘	1		1	32	9	柳田宏幸	12	9	12
4	44	宇都正信		3	3	33	10	上野ツヤ	15	14	14
8	48	田代隆志	1			34	11	川原勝義	9	13	4
15	55	山下晋平	1			35	12	森園泰夫	10	13	10
17	57				1	36	13	落合寛周	6	4	3
18	58				1	37	14	青崎濟	1	4	1
		来賓	4	4	3	39	16	齊藤忠	8	5	6
		合計	157	151	152	40	17	高城尚	7	4	7

●東京可愛山同窓会 総会出席状況●

平成 25 年 3 月 31 日 (注) 出席者がある期を掲載

東京可愛山同窓会会則 平成25年6月1日改訂(案)

- 第1条 本会は、東京可愛山同窓会という。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦をはかり、母校との緊密な連絡の下に、母校の健全な発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会員は、下記の二種とする。
 - 1 通常会員
川内中学校・川内高等女学校・川内高等学校・同併設中学校の卒業生および以前に同校に在学した者。
 - 2 特別会員
本会で推薦した者。
- 第4条 本会の役員および幹事を次のとおり定める。
 - 1 会長1名、幹事長1名、副会長及び副幹事長、会計ならびに会計監査を各若干名おく。また必要に応じ、名誉会長、顧問を若干名おき、役員会を構成する。
 - 2 会長は、総会で選出する。
 - 3 役員は、会長の指名により通常会員の中より選任し、総会の承認を得て選出する。
 - 4 役員会は必要に応じ、会長が招集し役員の過半数が出席して成立し、出席者の過半数の賛成を得て決定する。
 - 5 幹事は、各卒業期から選出し、会長がこれを委嘱する。幹事は、各卒業期の会員と密接な連絡をとり、本会を円滑に進めることに努める。
 - 6 必要に応じ役員、幹事合同会議を開き、会の運営に関する必要な事項を協議する。
 - 7 役員任期は2年とし、再任することを妨げない。
- 第5条 本会の目的を達成するため、毎年1回総会を開催し、会活動および会計の報告を行い承認を得るものとする。
- 第6条 本会は、会長の指定するところに本部を置く。また会計の所在地を役員会の会計担当自宅に置く。
- 第7条 本会の経費は、通常会員より年額1000円の維持会費を徴収し、本会の目的達成のために使用する。なお、寄付金および雑収入のあるときは、経費に充当することができる。
- 第8条 会務運営上、緊急を要する事項については、会長の提案により、役員会の承認を得て処理し、後日、総会に報告し承認を得るものとする。
- 第9条 補則
この会則は、昭和41年4月1日より適用する。

附則

- 1. 本会の本部を東京都豊島区高田3-18-11 シルヴァ-高田馬場ビル(株)キーバインド内に置く。
- 2. 東京可愛山同窓会会則を、平成25年6月1日に改訂する。

編集後記

●記事訂正とお詫び
会報第十一号一面、愛甲新会長の挨拶の表題が「東京可愛山同窓会」となっており、正しくは「東京可愛山同窓会」であります。その他広告欄に誤字がありましたことに対し深く陳謝いたします。

○会報第十二号の発行に当たり
昨年の同窓会を閉会する際、「毎年少なくなる参加者をなんとかできないか?」と提言があり、新会長様をはじめ、副会長様の「熱き思い」の下、役員の皆様も一丸となって検討を開始されました。全国に点在する可愛山同窓会の活動状況を具に調査し、数多くの情報を収集、併せて、期ごとの幹事様の協力を仰いで、「東京可愛山同窓会の会則」の改訂から会の運営方法の改善に精力的に取り組みました。
今回、当会報は、こうした取り組みをお伝えしたく編集しました。「東京可愛山同窓会」創立五十周年を2年後に控えて!

(編集者)

同期PRコーナー

- 高女31期 毎年10月中野サンプラザで開催、昨年10名参加
- 川高4期 本年4月8日(月)市比野のホテル「グリーンヒル」にて「傘寿全国大会」を開催、88名参加
大会会長 宮里 寛
- 川高7期 昨年5月、鎌倉ウォーキング
毎年11月頃同期会開催
- 川高10期 卒業年の昭和33年を使って33会(燦々会)と称し、現在会員は80名ぐらい
毎年1回の懇親会開催
昨年「箱根」の1泊2日の旅行、参加者20名
- 川高12期 昨年10月28日「KKR箱根 清風荘」にて同期会19名参加
毎年10月最終日曜日に開催の予定
- 川高14期 昨年同期会2回開催、それぞれ9名と20名参加
- 川高24期 昨年11月10日銀座「素処」にて開催、24名参加
- 川高26期 昨年12月1日品川プリンスホテルにて開催、20名参加

川高25期会

世話人

原 能 章
小 平 義 久
下 蘭 裕 明

川高20期卒 (四三会)

平成25年11月9～10日
四三会東京同期会開催
(80名余参加予定)
会場 ホテル日航東京 (お台場)

東京17期会

同期会・同窓会におじゃたもんせ

川高15期会

第65回母校卒業式に
87名参加

関東地区

10期会(燦々会) 世話人代表

久 保 信 行
可愛山同窓会幹事
上 野 ツ ヤ